会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和５年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業（２）教職員の資質能力向上の推進　①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第4回全国職業教育協議会 |
| 開催日時 | 令和6年2月20日（金）15:00～17:00 |
| 場所 | 学校法人麻生塾　10号館会議室 |
| 出席者 | 事業責任者：林　宏治　　　　　　　　　　　　　　　　計1名委　　　員：岡村　慎一、成底　敏、五十部　昌克（OL）、木村　隆浩、鈴木　弘明（OL）泉田　優　　計6名請負業者　：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　計1名オブザーバ：足立　隆　　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計9名 |
| 議題等 | ◯アウトソーシングに対する予算（林）・具体的に何かあれば具体化するが、ないようでしたら50万円を計上して理事会に提出する。◯謝金支払い（林）・文科省の委員謝金と全専研委員謝金とで際がある。この件については全専研の規定をベースに文部科学省との差額分を追加する。・本日実施しているのは、文科省委員会なのか（五十部）・その通りである。（林）・謝金の有効性は委員会すべてが対象とするのか？研修に参加する場合にはどこがやるのか？（岡村）・差額分の支払いの方式はどのように考えるのか？（岡村）・支払いは、文科省と全専研については区分する。（林）・法人受け取りの場合はどのようにするのか？（木村）・それは、学校側の問題であると思う。（林）◯災害などのキャンセル費について（林）・これは全専研で費用を負担することにする。◯事務局の事業継承の件（林）・現在事務局に確認中◯共通基盤整備事業説明（五十部）・事業としてやるべきことはすべて終了している。・現在は、最終的な集計や原稿の返答を待っている状況である。・HPと文科省への報告ビデオを今後作成する。――――――――――意見交換・原稿の状態を掴んでいないので、進行状況を把握してほしい。（飯塚）・了解した。21日までに原稿を送る。◯教員研修事業説明(成底)・私が担当しているのは、教員概論、授業改善、産学連携ですのでこの部分について私がお話しさせていただく。・教員概論は、専修学校教員のキャリアに関する調査を行った。・現在は、教員概論のサンプル版を上げる予定としている。・最終の委員会は22日に行う。・このプロジェクトの課題は、新人教員を対象とするのか、キャリア教育に使えるのかが最も重要だと考える。・授業改善は、学内で授業改善の指導ができる人材を育成するためのプログラム開発。・今年度は、調査及び研修を1度サンプルとして実施した。・調査報告書とカリキュラム・シラバス・教材そしてリフレクションの結果が成果物となる。・使用したツールや教員担当者が熊本大学に大きく依存しているので関係性を明確に必要があると考えている。・最後は、産学連携を推進する人材の育成をすることとしている。・アンケート調査やインタビュー調査を終了している。・現在は、サンプル教材を作成しているところである。・来年度は、このサンプル教材の展開をする予定である。◯教員研修セミナーについて報告（泉田）・本年度は、FD・SDのセミナーを福岡と東京にて実施した。・募集状況等は30人募集ですべて満席の募集をいただいた。・当日参加は30人弱で研修を実施している。・また、職マネと自己点検評価のセミナーを福岡と東京にて実施した。・募集の状況は、FDSDとほぼどうとの状況である。・すべてのセミナーが事例を発表を受けてワークを行う方法で実施した。・ワークについては、大変有効であったと感じている。◯ポータルサイトの運用（泉田）・ポータルサイトの運用については本年度要件を明確にするため方向性を検討した。・次年度以降について、運用を開始する予定である。――――――――――意見交換・質疑なし。◯全国職業教育協議会(林)・アウトソーシングについてついては、何か思いつくものはあるのか？（林）・謝金の本年度の請求については、私の方で行います。（林）・次年度の組織に関しては、質保障向上委員会と全国職業教育協議会について合体して運営する。・体制については大きく変化することは考えていない。・理事代表は下薗先生。・委員リストは添付資料を参照。―――――――――――意見交換・副委員長の定義は如何であるのか？（岡村）・役職ごとに費用を分割するのであれば整理する必要がある。（岡村）・質向上は５研修やっていることになるがどのように考えるのか（木村）・本日段階でははっきりしないが、理事会等と調整してする。（林）・副委員長になる方は、次期委員長として活躍していただくことにすると考えているが、、、（成底）・その通りだ。（林）・協議会は文科省を調整していた。質保障向上は研修実施することを念頭としていた。竹谷さんと片岡さんは、研修企画ができるか少し不安である。実務上の運用は調整が必要と考える。（成底）・その通りだ。（林） |
| 配布資料 |  |

以上